れんごうさが

No.194
2024年1月

社会を新たなステージへ、ともに歩もう、ともに変えよう
～仲間の輪を広げ　安心社会をめざす～

RENGO　SAGA

発　行　日本労働組合総連合会・佐賀県連合会
発行人　松尾和寿　　編集者　矢ヶ部教馬

〒840-0804　佐賀市神野東4-7-3　TEL0952-33-3705　FAX0952-33-2805

2024新年のごあいさつ

日本労働組合総連合会　佐賀県連合会　会長　草場（くさば）　義樹（よしき）

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

組合員の皆さまとそのご家族におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年を象徴するひと文字は「税」でした。法人税や所得税など増税にまつわる議論が行われ、岸田総理を揶揄（やゆ）する「増税メガネ」という言葉も注目されたようです。また、インボイス制度やふるさと納税のルール厳格化、新NISAなど、税にまつわる改正や検討の話題も多くありました。

そして、年末には自民党安倍派の裏金問題で、国会議員の「脱税」も浮上し、国民の怒りも頂点に達するなど、終始「税」にまつわる話題は尽きませんでした。

よって、本年は岸田政権に「NO」を突き付けるべく、来る第５０回衆議院議員選挙では、連合推薦の佐賀県第1区／原口一博氏、佐賀県第2区／大串博志氏の小選挙区勝利を果そうではありませんか！

さて、昨年の春闘では全体の賃上げ率は高まったものの、中小企業の賃上げ率は相対的に低位にとどまり課題を残す結果となりました。中小企業ほど人手不足が深刻である一方、適正な価格転嫁が遅れ企業収益を圧迫しています。

よって、労務費を含む適正な価格転嫁や「人への投資」「未来への投資」を通じた生産性の向上などにより、継続的に格差是正を含めた賃上げができる環境を「政策面」と「労使面」の両面からつくる運動を展開していかなければなりません。２０２４春闘は、「経済」も「賃金」も「物価」も安定的に上昇する経済社会へとステージ転換をはかる正念場と位置づけ、社会全体で問題意識を共有し持続的な賃上げを実現して参りますので、構成組織のお力添えをよろしくお願いいたします。

また、ジェンダー平等や社会的な対話の促進は、あらゆる連合運動の基盤となります。「働くことを軸とする安心社会 －まもる・つなぐ・創り出す－ 」という連合ビジョンに加え、「はたらくのそばで、ともに歩む」のキャッチコピーとともに積極的に運動を展開する所存です。

結びといたします。本年の干支は甲辰（きのえたつ）。辰年は十干十二支の組み合わせによって5つの種類があり、前回の甲辰は60年前の1964年（昭和39年）でした。1964年といえば記念すべき「東京オリンピック」開催の年であり、オリンピズムの目的は、「人間の尊厳保持に重きを置く、平和な社会を推進すること」にありました。世界中で紛争が続く中、何の罪もない子どもたちの命、家族、自由も奪われ続け、そこには「人間の尊厳」はありません。

本年の甲辰が「世界平和と人間の尊厳」に大きく寄与することや、皆さまにとって素晴らしい年となりますことを祈念申し上げ年頭の挨拶といたします。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

明けましておめでとうございます
今年もよろしくお願いいたします

連合佐賀役職員一同

2024新年のごあいさつ

日本労働組合総連合会　会長　芳野（よしの）　友子（ともこ）

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

日頃より連合運動へのご理解とご支援をいただき心より御礼申し上げます。

4年あまり続いたコロナ禍は徐々に治まり、5類感染症に移行して初めての新年を迎えました。コロナ禍の経験を通して、世の中は、たくさんの方々が支え合いながら成り立っていることや、危機に直面したときに必ずそれに立ち向かう方々がいることを、実感をもって再認識いたしました。「はたらくのそばで、ともに歩む」との連合の新しいキャッチコピーとともに、新たな気持ちで働く者に寄り添う連合としての挑戦をし続けて参ります。

昨年、30年ぶりの高水準で賃上げが実現しましたが、実質的にその効果が霞んでしまうほど、いまも物価高が継続しています。持続的な賃上げが可能となるよう経済社会のステージ転換を図るためには、サプライチェーンにおける労務費を含む価格転嫁は必須です。そのためにも「価格転嫁、価格交渉、環境整備」を強く訴えて参りたいと思います。

また、ロシアによるウクライナ侵略はいまだに継続しています。中東では、パレスチナのガザ地区を実効支配するハマスとイスラエルとの戦闘が勃発し、1万人を超える市民が命を落としています。どちらの地域にも国際労働運動を通じて連帯する仲間が大勢います。「平和なくして労働運動なし」との信念は、70数年前の戦禍を経験した私たちが、常に労働運動の根幹に据えてきたゆるぎないものでしたが、時を越え、地域を越えて今もなお脅かされる脆さもあることを痛感しています。同じ空の下、戦火に不安を抱えながら命をつないでいる仲間の安全を祈りたいと思います。そして、改めて「平和なくして労働運動なし」との思いを強くしたいと思います。

今年は、連合における「ジェンダー平等推進計画フェーズ1」の最終年です。この計画は、連合本部、地方連合会、構成組織における女性役員の選出や意思決定機関への参加機会の確保、活動スタイルの点検や見直しなど、ジェンダー平等実現のための足元をしっかり固める基礎的な目標を定めたものです。日本のジェンダーギャップ指数は、125位と低迷しています。世界はずっと前に進んでいるということをより一層自覚し、ジェンダー平等をめぐる社会の仕組みを変革していく努力をして参ります。

世界では、政労使の三者が対話を通じて社会課題を解決することがスタンダードとなっています。政府や使用者だけが社会をけん引するのではなく、生活者としての労働者、あるいは使用者の最も身近なステークホルダーとしての労働者である私たちが、政府や使用者とも対話を通じて、社会を構成する責務を果たして参りたいと思います。

ジェンダー平等や社会的な対話の促進は、あらゆる連合運動の基盤となる取り組みです。これまでの取り組みを踏まえながら、「働くことを軸とする安心社会　－まもる・つなぐ・創り出す－」という連合ビジョンに加え、「はたらくのそばで、ともに歩む」のキャッチコピーとともに、多くの皆さまのご期待に沿うことができるよう、スピード感を持ち、他人ごとではなく「ジブンゴト」として課題に向き合いながら努力して参ります。

本年が皆さまにとって実り多い一年となりますことを祈念いたします。

立憲民主党佐賀県総支部連合会代表　元総務大臣
衆議院議員　原口（はらぐち）　一博（かずひろ）

連合佐賀の皆様、明けましておめでとうございます。皆様に心からの感謝を込めて連帯のご挨拶をいたします。日頃から立憲民主党佐賀県連、そして原口一博にひとかたならぬご支援を賜り本当にありがとうございます。

今年は、能登半島地震や航空機事故など大災害、大事故が続いております。改めて亡くなられた方々に哀悼の誠を捧げ被災された皆様にお見舞いを申し上げます。被災地支援でも連合佐賀の皆様にお力添えをいただいております。

重ねてお礼を申し上げます。

19ヶ月連続実質賃金が下がり続けております。昨年の春闘等での皆様の勝利も岸田内閣の無策、増税、負担増路線で賃上げの果実が目減りしているのが現実です。

昨年、一人当たりGDPでも韓国、台湾に抜かれ成長率は先進国最下位です。

弱いものイジメのインボイス、日本弱体化装置である消費税。国民には増税、自分たちは脱税、裏金、海外には献上金。これで日本が保つはずがありません。衰退から成長に！私たちは連帯を強め、自公の悪政を今年こそ一掃しなければなりません。

私もその先頭に立ちます。独立自尊の日本、国民の命と健康、財産を守る政治。私たちこそが次の政権の受け皿です。

私は、毎朝、皆様に向けてLive配信を続けております。ぜひご登録、拡散くださり、連合運動に結集する皆さまのご判断の縁としていただきたいと思います。

末筆となりましたが、草場会長はじめ連合佐賀の皆様のご多幸とご活躍を心からお祈り申し上げます。どうぞ今年もよろしくお願い申し上げます。たくさんの祝福がありますように。

立憲民主党佐賀県総支部連合会　最高顧問
衆議院議員　大串（おおぐし）　博志（ひろし）

新年おめでとうございます。

旧年中は、統一地方選がありました。連合佐賀の皆様には熱いご支援を賜り、本当にありがとうございました。おかげさまで、私たちが支援する、そして連合の皆様から応援して頂いた、全ての仲間の当選を果たすことができました。

さて、私たちの生活を圧迫する物価高が継続する中、岸田政権は機能不全の状況だと言わざるを得ません。実質賃金は一年半以上マイナスが続いています。賃上げが何よりも重要な今、岸田政権は「賃上げを働きかける」のみであって、政府として実効的な手を打っていません。「賃上げ促進税制」も極めて力不足。選挙目当てでとってつけたような定額減税では本当の安心は生まれません。

自民党の「政治とカネ」の問題は、自民党政治が、いかに構造的にカネ、癒着、しがらみにまみれ、国民の目線から離れてしまっているかを如実にあらわしています。「自民党の政治モデル」は終焉を迎えたと言わざるを得ません。

今こそ、真に国民目線、日々働く者の目線に立った、当たり前の政治に立ち返り、政治への信頼を取り戻していかなければなりません。連合の皆様とともに、生活者、納税者、働く仲間の立場から、国民の信頼を受ける政治を、私たちが打ち立てていくべき時が来ています。

今年を、自民党政治に代わる政権の受け皿となり得る政治勢力を確立していく一年にしていかなければなりません。

そのために、皆様とともに、粉骨砕身、努力していくことをお誓いして、新年のご挨拶とさせて頂きます。

2023中小民間労組交流集会開催

連合佐賀フェアワークセンターは、11月18日（土）10時より自治労会館にて中小民間労組交流集会を開催し、今回は課題をメンタルヘルスに設定した研修会としました。まず、フェアワークセンターの草場副委員長が主催者を代表して「職場のメンタルヘルス対策は非常に重要になってきている。2000年代頃から様々な法整備などが行われてきたが、いまだに精神障害が原因での休職者は増えてきている。職場でも喫緊の課題となっているので今日の研修を実りのある研修にしていただき、職場に反映していただきたい。」と挨拶を行ったのち、今回のテーマである「職場のメンタルヘルスケア」～男女の性ホルモン変化：メンタルヘルスと職場での影響～と題して**MINIX woman healthcare design 主宰 石丸 律子 さま**から講演をいただきました。

講演では①「メンタルヘルスについて」②「男女の性ホルモンについて」③「数字で見る働く人の今とストレス」④「メンタルヘルスケアの3つの予防と4つのケア」⑤「メンタル不調に気づく」という内容で、なぜ職場のメンタルヘルス対策が必要か？ということを解り易く説明されました。職場のストレスの現状として、ストレスがあると回答した人が6割に達しているが、9割の人が相談する人がいると回答し、相談者に対して真摯に対応することで多くの方が立ち直るきっかけになることや、職場での勤務態度や生活の乱れはストレスによる症状の可能性もあることから、日頃のコミュニケーションが悩みの解消にも繋がるなど、職場でも役に立つ内容の講演をいただきました。

参加者からは、「結婚や妊娠、休暇などの一見、ストレスや悩みに繋がらないようなライフイベントでも不安や悩みが多くなっているが、どのように生活していくとストレスが低減できるか」、また「組合役員ということも有り様々な方から相談を受けるが、どのような相談方法が効果的か」などの質問があり、講師の先生から参加者に対しいろいろなアドバイスがされました。さらには、職場や家庭でも「聴く」（きく）、「聴す」（ゆるす）の大切さが必要です。またあまり頑張りすぎずに過ごすことも必要ですとの言葉で締めくくられました。

最後に、参加者全体での集合写真を撮影し、交流集会を閉会しました。

政策委員会「2023現地視察」

「働くことを軸とする安心社会」の実現をめざし「政策委員会」として、毎年、政策・制度に関わる時事のテーマを掲げ、「現地視察」を実施しています。今年度においては、11月29日（水）に「有明海における水産業振興の現状」と「ものづくり産業を学ぶ」をテーマに視察を行いました。

≪視察1≫

有明海における水産業振興の現状視察（佐賀県有明水産振興センター）

増田副所長

増田副所長より「佐賀県における有明海再生に向けた取組み」について、説明をいただきました。「有明海では様々な環境問題が発生している。たびたび赤潮が発生し、平成12年の大規模なノリの色落ち被害が発生した有明海異変以降は、漁獲漁もピークの1980年頃から最近では減少傾向が続いている。特にアサリ、タイラギ等の二枚貝類資源が減少しており、有明海沿岸の漁業者等からその資源回復が強く求められている。有明海の再生に資する二枚貝類等の資源

回復に向け、生息状況の把握を行うとともに漁場環境改善を行っている」など、問題解決のための様々な取組みについてお話しいただきました。

★水産業振興を図るための取組み（一例）

≪特産貝類の増養殖≫

重要貝類タイラギ、アゲマキの資源回復のため、種苗生産及び放流技術の開発、資源調査、サルボウ、アサリの生産安定の養殖管理技術開発、カキ類養殖技術開発等の試験研究等。

≪栽培漁業、資源管理型漁業≫

ガザミ、クルマエビ等の種苗放流や資源管理、放流技術の開発、漁獲物調査等。

≪ノリ養殖≫

生産安定のための新品種開発、アカグサレ病、壺状菌病等の病害対策技術開発、環境に優しいノリ養殖技術開発に関する試験研究。ノリ漁期には漁場の栄養塩、植物プランクトン、病害等の調査を行い、ノリ養殖情報や海況速報を提供し、養殖管理の技術指導等。

≪見学≫

大魚神社の海中鳥居（太良町）、鹿島市民文化ホール（鹿島市）

多良岳を背に昔から有明海とともに歩んできた歴史がある、大魚神社の海中鳥居を見学した他、昨年9月10日にオープンした鹿島市民文化ホール（SAKURAS）では、客席751席、座席は市のイメージカラー8色でデザインされ、ステージを囲み360度鑑賞できるバルコニー席があり、ステージから2階の観客席へ直接移動できる設計となっていました。

海中鳥居

鹿島市民文化ホール（SAKURAS）

≪視察2≫

佐賀県内における ものづくり産業の現状視察（東亜工機株式会社）

光武社長より「会社概要」について、説明をいただきました。鹿島市内に3つの工場があり、本社がある谷田工場では、大型シリンダライナの素材から完成までの一貫生産体制を完備されています。

シリンダライナとは、船のエンジンに欠かせない部品の一つで、モノや人を運ぶ大型船のうち日本では3/4、世界でも3隻に1隻は東亜工機で造った部品「シリンダライナ」が使われています。撮影禁止となっているため写真を撮ることは出来ませんでしたが工場内は綺麗に整理されていました。来年設立80周年を迎え「今後も御得意先が安心して使用頂ける品質の製品づくりの為に、現在まで蓄積してきた固有の技術・技能をベースとし、人材教育を更に充実し、製造技術の開発、設備の有効利用に努め、船舶向けに限らず、発電向け等の分野にも取り組んでいく」とお話しいただきました。

光武社長

青年委員会「第34回定期総会」開催

連合佐賀青年委員会は、12月2日（土）15時より「自治労会館」にて、代議員・青年委員会役員あわせて43名の出席のもと「第34回定期総会」を開催しました。

2023年度の活動を総括し、議案として2024年度活動方針ならびに2024年度役員が提案され、両議案とも承認されました。また、役員改選に伴い、新旧役員の紹介・挨拶が行われました。その後、総会アピールを採択し、江川新委員長のガンバロー三唱で閉会しました。

2024年度の活動にあたっては、連合佐賀2024年度運動方針および青年委員会会則に定める目的と活動をふまえ、次世代を担う青年リーダーの育成や単組・産別の枠を超えた青年の交流・学習会、政治活動への理解促進・参加等に取り組んでいきます。また、構成組織・地域協議会の青年組織・青年組合員との連携に努めていきます。

次世代を担う青年リーダーの育成は、労働組合として、連合・産別・単組として重要な運動の一つです。青年活動の活性化に向け、各機関・組織の位置づけと役割を確認しながら諸活動を展開していきますので、引き続きのご支援ご協力をお願いします。

【退任役員】

前委員長　佐藤 宏紀（自治労）、前副委員長　法花津 実（ＪＰ労組）、
前事務局長　円城寺 毅大（電機連合）、
前委員　阿部 友祐（電力総連）、小山 龍司（自治労）

【2024年度役員体制】

※副委員長、委員:五十音順

役　職	氏　名	産　別	単　組	再／新
委員長	江川　峻亮	電機連合	戸上電機労組	新任
副委員長（2名）	野口　徹多	ＪＰ労組	ＪＰ労組	新任
	林　祐介	情報労連	ＮＴＴ労組	新任
事務局長	森元　翔太	電力総連	東和労組	新任
事務局次長	釘宮　大輔	ＪＰ労組	ＪＰ労組	新任
委員（8名）	荒木　拓登	自動車総連	トヨタ紡織九州労組	再任
	岸川　駿矢	電力総連	九州電保労	新任
	堺　貴文	自治労	鳥栖市職労	新任
	鈴木　一輝	電機連合	日清紡マイクロデバイスＡＴ労組	新任
	田中　実	全水道	全水道佐賀水道労組	再任
	西坂　勇一	フード連合	全森永労組	再任
	松尾　渉	紙パ連合	王子マテリア労組	再任
	産別に他1名要請中			

女性委員会「第34回定期総会」開催

連合佐賀女性委員会は、12月9日(土)佐賀市「ほほえみ館」において、代議員・女性委員会役員あわせて38名の出席のもと「第34回定期総会」を開催しました。

開会にあたり、石隈委員長(フード連合)は「4年余り続いたコロナ禍も徐々に治まり、5月に5類感染症に移行して、ようやくコロナ禍前の活動が出来るようになり『3.8国際女性デー学習会』や『女性集会』を開催することができた。ジェンダー平等や社会的な対話の促進は、あらゆる連合運動の基盤となる取り組みである。女性委員会活動は、男女がともにイキイキと働き続けられる職場づくり、すべてのハラスメントのない社会実現に向けた活動だと思っている」と労働組合・女性委員会の必要性を訴え、諸活動への参加・参画、理解と協力を求め挨拶しました。

総会では、2023年度活動報告が承認され、議案として2024年度活動方針ならびに新役員が審議、承認されました。その後、「総会アピール」が採択され、閉会しました。2024年度の活動にあたっては、産別の枠を超えた交流や情報交換、女性リーダーの育成など、多くの女性が参加しやすい環境の工夫に努めます。あわせて、女性組合員自身が積極的に参加・参画することを求めて、「ジェンダー平等・多様性推進委員会」と連携をしながら、引き続き『連合「ジェンダー平等推進計画」フェーズ1』の取り組みを進めていきます。

【退任役員】

前事務局長　石橋 麻子 (電機連合) 、前幹事　草場 恵美 (情報労連) 、後藤 麻衣子 (ＪＰ労組)

【2024年度新役員】

※幹事:五十音順

役　職	氏　名	産　別	単　組	再／新
委員長	石隈由紀子	フード連合	味の素冷凍食品労組	再　任
副委員長	北島　活恵	自治労	佐賀市職労	再　任
事務局長	南川　千晴	電機連合	戸上電機労組	新　任
副事務局長	眞崎美由紀	電力総連	九電ユニオン	再　任
委員 (6名)	安部　美月	電力総連	佐電工労組	再　任
	大坪　昌子	ＵＡゼンセン	ＵＡゼンセン佐賀県支部	再　任
	北島八重子	情報労連	ＮＴＴ労組	新　任
	佐藤　美保	自治労	県職連合	再　任
	新郷　真弓	ＪＰ労組	ＪＰ労組	新　任
	松尾　美里	全労金	九州労金労組	再　任

総会後は、今年実施した「2023女性委員会アンケート調査結果」について、分析をお願いしている佐賀県地方自治問題研究所の石田恵美子さまより、報告がありました。「長年女性組合員を対象としてアンケート調査を行ってきたが、今年は全ての組合員を対象とし、調査内容も『ワークライフバランス』に重点を置いたものにした。今年もWEB形式で実施し、回答者数も2,514件と昨年の2倍となり、ワークライフバランスは女性支援のための施策とイメージされやすいが、男性の回答者数が多く、改めて男女問わず、関心の高さが伺えた」と報告されました。

連合佐賀ホームページで「2023女性委員会アンケート調査結果」を公開していますので、各職場でご活用下さい。

議員懇2023冬季研修会開催

11月25日（土）に連合佐賀議員懇談会主催「冬季研修会」が開催されました。議員懇談会では、政策制度の取り組みや各地方自治体の諸課題について議員と役員の情報の共有を目的に開催しています。今回は、議員懇談会会員9名・連合佐賀（地協含）18名が参加しました。

《連合佐賀議員懇談会 徳光清孝会長あいさつ》

「およそ10か月後になった2024全国スポーツ大会、全国障害者スポーツ大会が佐賀で開催される。今日は塚原副局長にこの間の準備や苦労も含めて、提起をしていただく。佐賀新聞で特集が組まれていたが、スポーツ産業という新たな言葉も生まれている。医療でアスリートを支援するとか大学がそのための研究をするとか、スポーツを通して、今色々な分野に広がってきているように思う。そのような意味では、2024国スポ・障害スポが佐賀県あるいは佐賀県民に対して、どのようなものを残していくのか、継続させていくのか、注目していきたいと思う。佐賀県内20市町すべてで種目が開催されるので、市町でも大変苦労しながら、最終準備にかかられていると思う。色々な課題も指摘されているので、今日しっかり提起を聞いていただき、色々な意見交換が出来ればと思う。」と挨拶されました。

〈講演〉演 題 「SAGA2024国スポ・障害スポの成功に向けて」
〈講師〉佐賀県SAGA2024・SSP推進局 副所長 塚原弘幸 様

「2024年、国体の愛称で親しまれてきた国民体育大会が、『国民スポーツ大会』へと名称を変える。佐賀は、大会が変わる、そのはじまりの地に選ばれた。『体育』から『スポーツ』に変わる、今だからこそできることは何か。佐賀県では『SAGAスポーツピラミッド（SSP）構想』を掲げ、トップアスリートの育成とともに“する”“育てる”“観る”“支える”といった、それぞれのスタイルで誰もがスポーツを楽しむ文化の裾野の拡大を図り、スポーツの力で世界に誇れる人づくり、地域づくりを目指してきた。SAGA2024から、すべての人にスポーツのチカラを届ける、新しい大会へ。県民のみなさんと一緒に。」とご講演いただきました。

参加者からは、市町（受け入れ側）への支援や県外の方に向けたPR、宿泊施設への要請について、あまり知らないスポーツをより楽しめる工夫（AIを使った解説）などあるか？などの質問・意見がでた。塚原副局長からは、貴重なご意見として、県に持ちかえらせていただくと回答いただき、講演を終了しました。

熱心に聴講される会場の様子

様々な視点で、活発に質問や意見をいただいた

佐賀県退職者連合「第30回定期総会」開催

佐賀退職者連合（略称：佐賀退連）は、11月28日（火）10時より自治労会館にて、第30回定期総会を開催しました。

今総会では、2023年度の活動として、社会保障制度の充実を求める要請行動、会員親睦交流、生きがいづくり、健康づくり、学習・交流会のほか、具体的な課題に取り組んできたことなどを振り返って総括されました。

また、議案では、2024年度活動方針（社会保障制度改革に向けた取り組み、組織拡大・強化など）ならびに会計予算が付議され、両議案承認されました。

佐賀退連は、「安心・信頼の社会保障制度の確立で、生き生きと安心して暮らせる社会」をスローガンに、「組織を強化し、主体的力量を高め、7000人会員の総力をあげて運動を前進させる」ことを確認する総会アピールを採択し、武重会長の「団結ガンバロー」で閉会しました。

全国一斉集中労働相談ホットライン

～STOP！長時間労働～あなたの働き方は大丈夫？～

例年12月に開催している「全国一斉集中労働相談ホットライン」について、12月13日（水）と14日（木）に開催しました。

［テ ー マ］　「STOP！長時間労働　あなたの働き方は大丈夫？」
［周知方法］　テレビCM、ラジオCM、新聞掲載　等
［実　　績］　13日・・・1件、　14日・・・5件　　計6件
［相談内容］

① シルバー人材センターの仕事をしているが、今年の最低賃金の適用はあるのか？

② グループホームでの人間関係の悩み相談。

③ 娘が美容室に勤務している（全国チェーン店）。お昼休みもなく働いている。

④ 武雄市の会社を3年前にパワハラが原因で退職した。納得がいかないので、パワハラの件やサービス時間外手当の請求などを訴えたい。

⑤ スーパーで4時間の夜間勤務をしている。130万円の壁が超えそうだ。年末の忙しい中、人手不足もあり勤務をせざるを得ない。社内のモラハラで、やめる人が多く、人手不足解消が難しい。

⑥ 介護職の職員処遇改善加算について。令和4年は半期で25万円だったが、令和5年は20万円→15万円となった。また、半期単位に規定が変更されている。（評価制度にも問題がある・・遅刻常習者は減額がない）会社に確認すると評価制度から金額の変動はあるとのことだった。改善加算は変動するのか。

第63回（臨時）地方委員会の開催について　<公示>

連合佐賀規約第24条に基づき「第63回（臨時）地方委員会」を下記の通り開催いたします。

記

1．開催日時　　2024年2月3日（土）10時00分～11時30分（9時30分受付開始）

2．開催場所　　佐賀市　アバンセホール

3．議　　案　　第１号議案　連合佐賀2024春季生活闘争方針に関する件
第２号議案　表彰に関する件
※開催当日までに追加議案が発生する場合があります。

佐賀県の最低賃金額が改定されました

部　門		時間額	効力発生日
地域別最低賃金	佐賀県最低賃金	900円	令和5年10月14日
特定（産業別）最低賃金	一般機械器具製造業関係	974円	令和5年12月29日
	電気機械器具製造業関係	943円	令和5年12月29日
	陶磁器・同関連製品製造業	901円	令和5年12月　9日

なお、最低賃金には、次の賃金は含まれません。
①賞与などの臨時の賃金
②時間外・休日・深夜などの割増賃金
③通勤手当、家族手当、精皆勤手当

問合せ先：佐賀労働局労働基準部賃金室
☎0952-32-7179

連合 愛のカンパ

愛のカンパ金 募集

「連合・愛のカンパ」は、人道主義の立場から「自由、平等、公正で平和な世界の実現」に向け、社会貢献活動として取り組むものであり、NGO・NPO等の事業・プログラムへの支援を行っています。皆さまのご協力をお願い致します。

第一次集約　2024年1月31日（水）
最終集約　2024年6月28日（金）
振込先　【金融機関】中央労働金庫　本店営業部
【口座番号】（普通）8924434
【口座名義】連合愛のカンパ

助成支援団体募集

中央助成　海外や国内で救援・支援活動に取り組んでいるNGO・NPO等の事業・プログラムが対象で、連合に加盟する産業別組織（構成組織）から推薦された団体。

地域助成　連合組合員およびその家族、あるいは連合組合員OB・OGが、運営に参加している、または地方連合会（連合の地方組織）が日常的な活動で連携しているNGO・NPO等の事業・プログラムが対象で、地方連合会から推薦された団体。

◎活動内容
1. 大規模災害などの救援・支援活動
2. 戦争や紛争による難民救済などの活動
3. 人権救済活動
4. 地球環境保全活動
5. 障がいのある人たちの活動
6. 教育・文化などの子どもの健全育成活動
7. 医療や福祉などの活動
8. 地域コミュニティー活動（レクリエーション活動を除く）
9. 生活困窮者自立支援活動

応募期間：2024年1月5日（金）～3月29日（金）
応募方法：2024年度の申請書にご記入の上、必要書類を添えてご提出ください。中央助成は構成組織の推薦を確認の上、連合本部へ。地域助成は所在地の地方連合会「連合・愛のカンパ係」へ。詳細は連合ホームページの応募要領をご確認下さい。（2024年度申請書については12月掲載予定）

連合・愛のカンパ 事務局　〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2-11 日本労働組合総連合会　運帯活動局気付
連合　愛のカンパ　検索

編集後記

明けましておめでとうございます。2024年がスタートした。今年３月には大リーグが開幕し大谷選手や山本選手の活躍が楽しみである。７月にはパリ五輪も開催され、日本選手の活躍が期待される。さらに10月は佐賀においてSAGA2024国スポ、障害スポが開催される。2024年はアメリカやパリには応援に行けないが、佐賀の地で様々なスポーツの感動を楽しみたい。（K・Y）